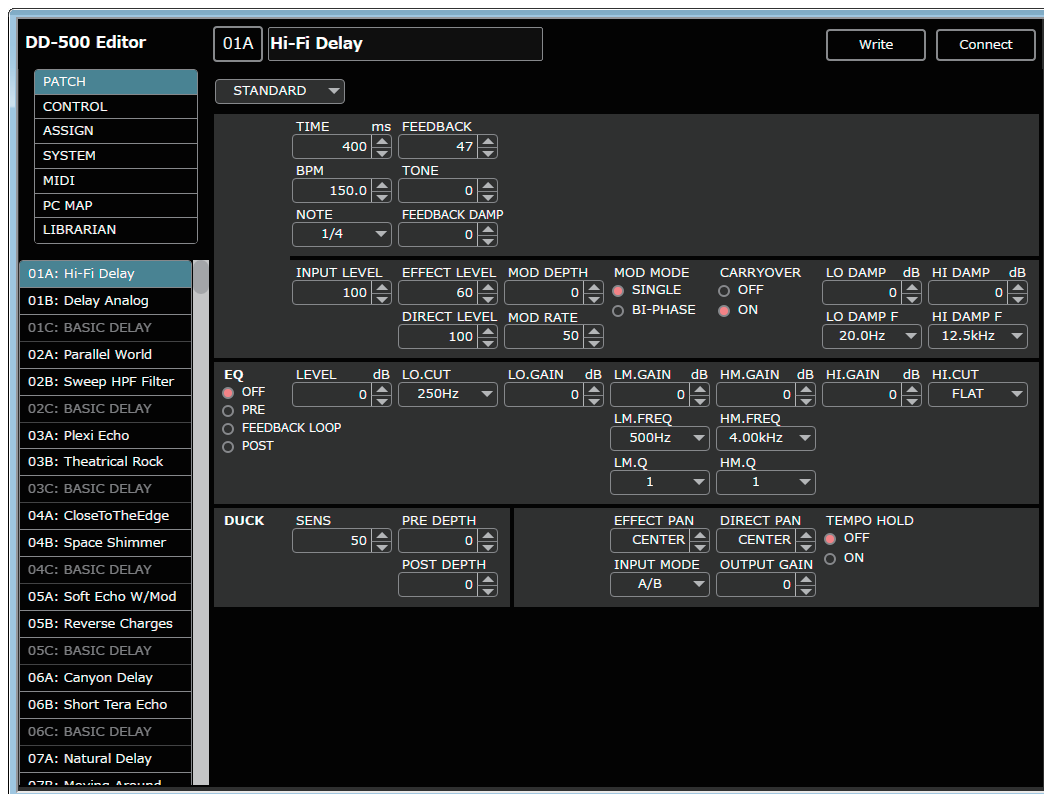


# DIGITAL DELAY DD-500

## DD-500 Editor ver.2 取扱説明書



### 概要

本ソフトウェアは、以下の機能があります。

- DD-500 本体の PATCH、BANK、CONTROL、ASSIGN、SYSTEM、MIDI、PC MAP にあるそれぞれのパラメーターの編集
- DD-500 本体のパッチの管理 (LIBRARIAN)
- DD-500 本体の全パッチをバックアップ (LIBRARIAN IMPORT/EXPORT)

### 対応 OS

Windows 7 / 8 / 8.1 / 10  
OS X 10.9 / 10.10 / 10.11、macOS 10.12

### 必要機器

市販の USB2.0 ケーブル  
DD-500 ver 2

### 注意事項

- DD-500 Editor が DD-500 本体と通信しているときは、DD-500 を操作しないでください。
- DD-500 Editor ver.2 をお使いいただくには、DD-500 本体を ver.2 にバージョン・アップしてください。

# DD-500 Editor をインストールする

## Windows をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。
2. [DD-500 Editor Installer.exe] をダブルクリックします。  
インストールが始まります。
3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
4. [DD-500 Editor セットアップウィザードの完了] と表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

## Mac をお使いの場合

1. ZIP ファイルを展開します。
2. [DD-500 Editor Installer.pkg] をダブルクリックします。  
インストールが始まります。
3. インストール画面の指示に従って、インストールを進めます。
4. [インストールが完了しました。ソフトウェアがインストールされました。] と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。

# DD-500 Editor をアンインストールする

## Windows をお使いの場合

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。  
コントロール パネルが表示されます。
2. [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] をクリックします。
3. [DD-500 Editor] をダブルクリックします。  
アンインストールが始まります。
4. アンインストール画面の指示に従って、アンインストールを進めます。
5. [DD-500 Editor はご使用のコンピューターから正常に削除されました。] と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

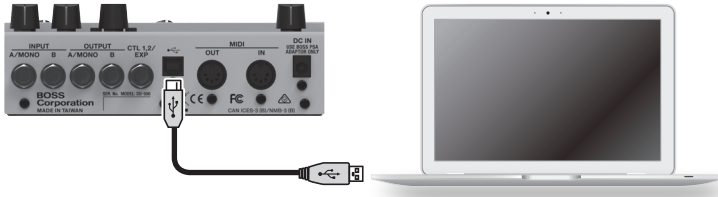
## Mac をお使いの場合

1. Finder (ファインダー) メニューの [移動] をクリックし、[アプリケーション] をクリックします。
2. [BOSS] フォルダー内にある [DD-500 Editor] ファイルをゴミ箱へドラッグ&ドロップします。

# 初期設定する

## パソコンを接続する

市販の USB2.0 ケーブルを使って、パソコンの USB 端子と DD-500 の USB 端子を接続します。

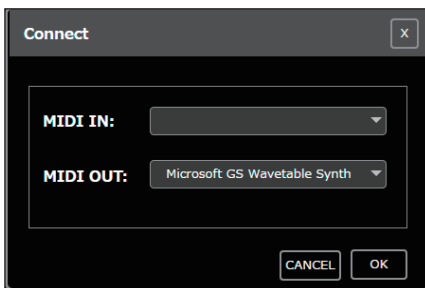


## DD-500 Editor で設定する

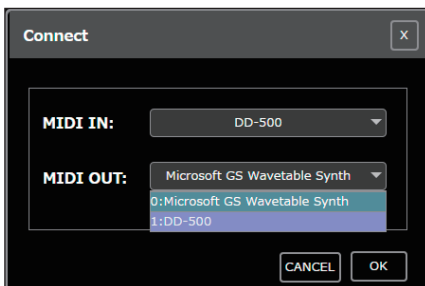
### 1. DD-500 Editor アイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。

ソフトウェアの起動が完了するまでしばらくお待ちください。

**[Connect]** ダイアログが表示されます。



### 2. MIDI IN と OUT に **[DD-500]** を選択します。

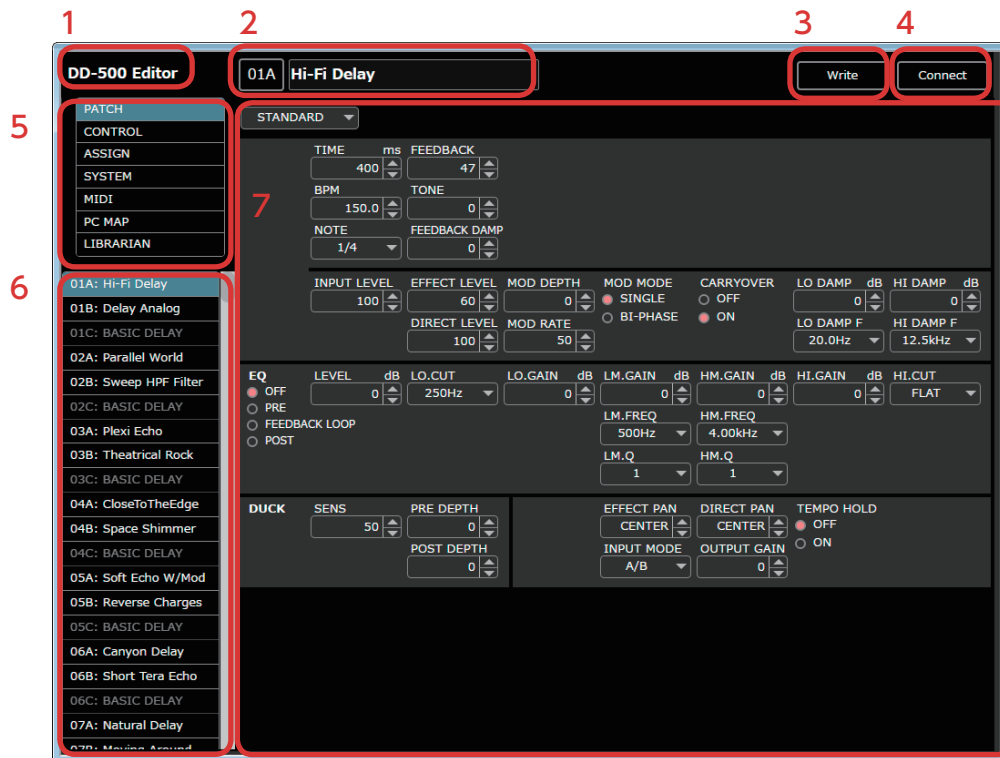


### 3. **[OK]** ボタンをクリックします。

正常に接続されていると、自動的に DD-500 と通信を開始します。

ここで選択された接続設定は、パソコンに自動的に保存されます。以後、ソフトウェアを起動すると自動的に接続されます。接続をやりなおす場合は、**[Connect]** ボタン (P.4) をクリックしてください。**[Connect]** ダイアログが表示されます。

# 各部の名称



## 1. DD-500 Editor について

## 2. パッチ・インフォメーション・エリア

## 3. [Write] ボタン

編集したパッチ設定を DD-500 本体へ転送、書き込みします。

## 4. [Connect] ボタン

## 5. ファンクション選択エリア

## 6. パッチ選択エリア

## 7. パラメーター編集エリア

# パラメーターを変更する

## パッチ・パラメーターを変更する

1. ファンクション選択エリア (5) で、[PATCH]、[CONTROL]、または [ASSIGN] をクリックします。
2. パッチ選択エリア (6) で選択したいパッチを選びます。
3. パラメーター編集エリア (7) で、パラメーターを編集します。

### メモ

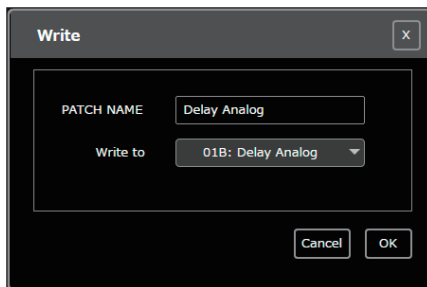
サイマル・モードのときは、PATCH 画面で BANK パラメーターを変更することができます。

## パッチ・パラメーターを DD-500 へ書き出す

DD-500 Editor で編集したパラメーターを、DD-500 本体へ反映させます。

1. [WRITE] (3) をクリックします。

[WRITE] ダイアログが表示されます。



2. [PATCH NAME] 欄でパッチ名を変更します。
3. [Write to] 欄で書き込み先のパッチを選択します。
4. [OK] をクリックします。

選択された書き込み先に、変更した内容が書き込まれます。

※ [WRITE] を実行せずにパッチを変更したりライブリアン (P.6) を操作したりすると、変えた設定は破棄されますのでご注意ください。

## SYSTEM、MIDI、PC MAP パラメーターを変更する

1. ファンクション選択エリア (5) で、変更したいファンクションを選択します。
2. パラメーター編集エリア (7) で、パラメーターを変更します。

変更した設定が、自動的に DD-500 本体に書き出されます。

# ライブラリアンについて

[LIBRARIAN] をクリックすると、ライブラリアン画面になります。  
ライブラリアンではパッチの管理をすることができます。

## パッチの並びを変更する

### 1. パッチを移動したい先にドラッグ&ドロップします。

選択したパッチとドロップ先のパッチのパッチ番号が入れ替わります。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。  
複数のパッチを選択した場合、同一バンク内のパッチ番号順、次のバンク番号という順に処理されます。  
バンクをドラッグ&ドロップすると、バンク単位 (BANK パラメーターも含む) で入れ替わります。

### 例：01A、02B、05A を選択してドラッグし、06B へドロップした場合

以下のパッチが入れ替わります。

- 01A と 06B
- 02B と 06C
- 05A と 07A

## パッチの名前を変更する

### 1. パッチをダブルクリックし、パッチ名を編集します。

パッチ名を編集すると、DD-500 本体にパッチ名が転送されます。

## パッチをコピーする

### 1. パッチを右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[COPY] をクリックします。

パッチ・パラメーターが専用のクリップボードに保存されます。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。

### 2. コピー先で、右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[PASTE (PATCH)] をクリックします。

クリップボードの内容が、DD-500 本体へ上書き設定されます。

複数のパッチを選択した場合、同一バンク内のパッチ番号順、次のバンク番号という順に処理されます。

バンクを右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[PASTE (BANK + PATCH)] をクリックすると、BANK パラメーターも一緒にペーストされます。

### 例：01A、02B、05A を選択してコピーし、06B へペーストした場合

パッチが以下のようにコピーされます。

- 01A を 06B へ
- 02B を 06C へ
- 05A を 07A へ

## 選択したパッチをファイルに保存する

保存されるファイルには、297 個のパッチ・データが含まれます。選択したパッチ以外は BASIC DELAY データが設定されます。

### 1. 保存したいパッチを選択し、右クリックしてコンテキスト・メニューを表示させ、[EXPORT] をクリックします。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。

### 2. 保存先を選択、設定します。

### 3. [保存] をクリックします。

DD-500 本体と通信して、選択されたパッチを含んだファイルを作成します。

複数のパッチを選択した場合、同一バンク内のパッチ番号順、次のバンク番号という順に処理されます。

## Mac では

[shift] キーや [option] キーを押しながら操作することで、複数のパッチを選択することができます。

また、[control] キーを押しながらクリックすることで、コンテキスト・メニューを表示させることができます。

## DD-500 本体の設定をすべて保存する (EXPORT)

1. **[EXPORT]** をクリックします。
2. 保存先を選択して設定します。
3. **[保存]** をクリックします。

DD-500 本体と通信して、すべての設定をファイルへ保存します。

## ファイルに保存した設定を DD-500 本体へ転送する (IMPORT)

1. **[IMPORT]** をクリックします。
2. 設定を保存したファイルを選択します。
3. **[開く]** をクリックします。

DD-500 本体と通信して、ファイルに保存された設定をすべて DD-500 本体へ転送します。

DD-500 Editor ver.1 で作成したパッチを転送すると、ver.2 に対応したパッチに自動的に変換されます。

## jQuery JavaScript Library v1.10.2

<http://jquery.com/>

Includes Sizzle.js

<http://sizzlejs.com/>

Copyright 2005, 2013 jQuery Foundation, Inc. and other contributors

Released under the MIT license

<http://jquery.org/license>

## jQuery UI - v1.12.1

<http://jqueryui.com>

Copyright jQuery Foundation and other contributors

Released under the MIT license.

<http://jquery.org/license>

## Underscore.js 1.8.3

<http://underscorejs.org>

(c) 2009-2015 Jeremy Ashkenas, DocumentCloud and Investigative Reporters & Editors

Underscore may be freely distributed under the MIT license.

## Backbone.js 1.3.3

(c) 2010-2016 Jeremy Ashkenas, DocumentCloud and Investigative Reporters & Editors

Backbone may be freely distributed under the MIT license.

For all details and documentation:

<http://backbonejs.org>